

# 公共交通の復旧・復興

### 鉄道の復旧・復興

- 津波被害により沿岸部のJR線一部区間（高橋町～石巻～女川）が運行停止。一部区間で被災前よりも内陸側に駅を整備し、平成27年5月までに全区間で復旧完了。
- 仙台～石巻間を結ぶ快速石巻ライオンが平成27年5月に新たに開通。
- 平成28年3月に、集団移転先の新蛇田南地区に石巻あゆみ野駅開業。

### 離島航路の復旧・復興

- 平成23年3月中旬に一日便での限定運航再開。
- 平成24年1月に通常ダイヤで完全復旧。
- 平成25年5月に金華山航路の一部再開。
- 平成30年12月に石巻中央発着所を開設し、新造船「マーメイドII」就航。
- 平成31年3月に新造船「シーカット」就航。

### 交通広場

平成30年10月にいしのみき元気いちば南側のかわまち交通広場が供用開始

# 道路・橋梁の整備

### 橋梁の整備

新しい内海橋は、被災した旧内海橋の架け替えとして宮城県が整備し、令和2年9月に開通しました。石巻かみなと大橋は、門脇地区と浜地区を結ぶ全長536mの橋梁として整備を進め、令和4年3月に開通しました。物流の活性化や、災害時の緊急輸送路としての役割が期待されます。

### 釜大街道線・石巻工業港運河線

釜・大街道地区を東西・南北繋ぐ幹線道路として整備を進め、令和5年3月に開通しました。災害時の避難道路としての役割や、当該地区の洪水緩和が期待されます。



▲内海橋開通式 ▲石巻かみなと大橋（令和3年12月撮影） ▲釜大街道線・石巻工業港運河線開通式（令和5年3月撮影） ▲渡波側 ▲渡波稲井トンネル

# 安全・安心のさまざまな取組

### 石巻市防災センター

東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模災害における災害対策本部の体制整備強化を図るため、市庁舎及び各防災関係機関と連携し、迅速な防災対応を行う機能を有した防災拠点施設「石巻市防災センター」が平成30年5月に開所しました。

### 津波避難タワー・ビル

市街地沿岸部に津波避難タワーを整備するとともに、津波に耐えられる建築物を津波避難ビルとして指定しています。津波避難タワー：4基、津波避難ビル：36か所。

### 津波避難計画の作成

東日本大震災時の経験に基づいて、市内各区分の津波避難マップを作成しました。また、津波避難時の行動についてルールを決めました。

### 自主防災組織の機能強化

町内会等で作る自主防災組織の防災資機材購入、防災倉庫設置、非常食購入、防災訓練実施及び防災士養成講座の受講を補助しています。

### 防災教育（復興・防災マップづくり）

児童生徒が「まち歩きや地域の方へのインタビュー」と「防災マップづくり」という「体験学習」を通じて、地域の自然や災害の歴史、防災に関する情報収集を行い、地域の良さや魅力を再発見する学習に取り組んでいます。

### 震災遺構の保存

東日本大震災による深い傷跡や、震災を通して得られた教訓について、市民・全国各地から訪れる多くの人々に伝承していくことを目的に、「旧門脇小学校」と「旧大川小学校」を震災遺構として整備を進め、「旧大川小学校」は令和3年7月に公開し、「旧門脇小学校」は令和4年4月に公開しました。



▲避難先を示す津波避難タワーピクトグラム ▲津波避難ビルピクトグラム ▲防災訓練 ▲まち歩き ▲防災マップづくり ▲学習の様子 ▲発表の様子 ▲旧門脇小学校 ▲旧大川小学校 ▲公園全景イメージ ▲植樹の様子

# 主な復興事業の全体像―復興まちづくりの姿・市街地部―



## 中心市街地の整備

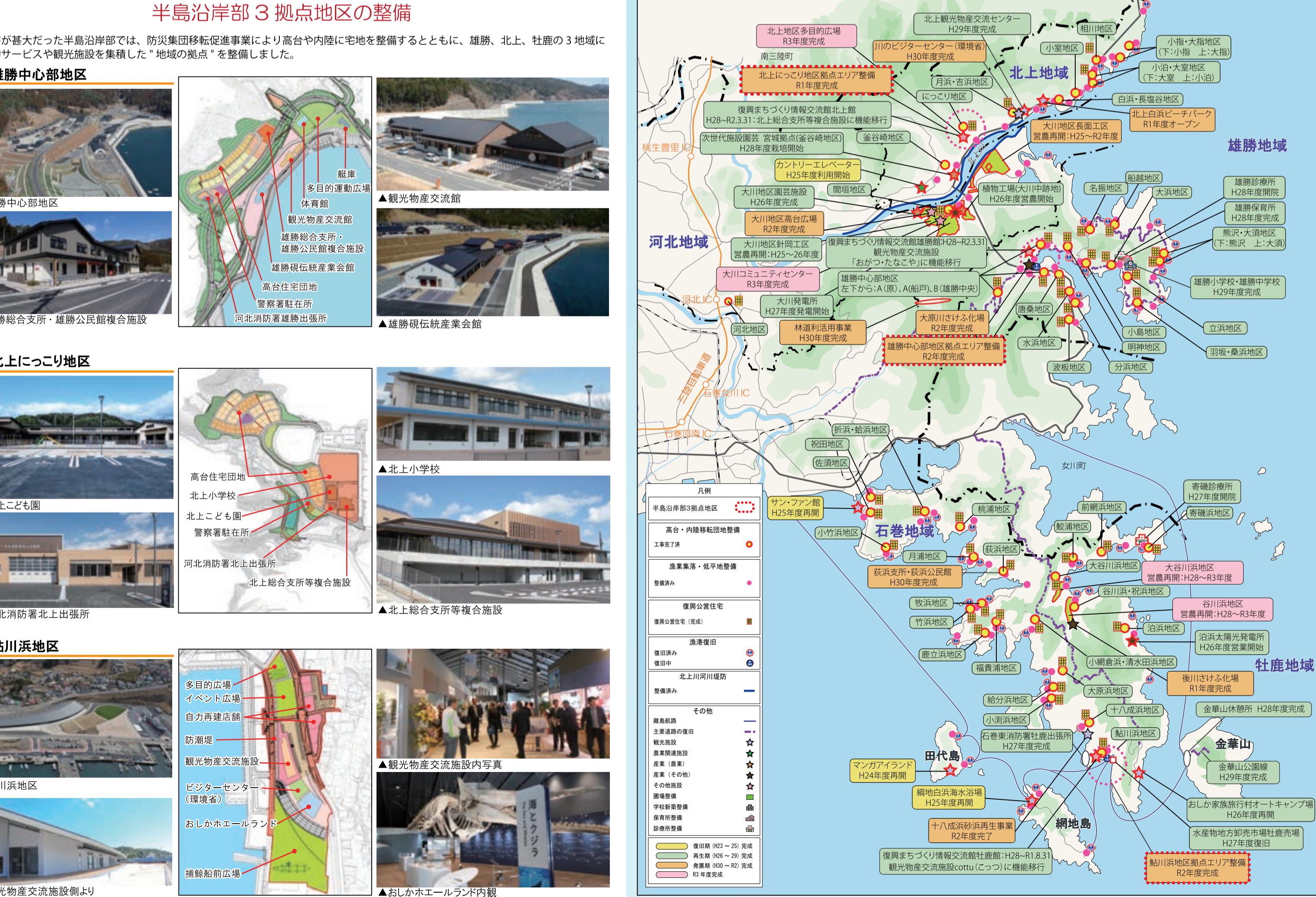
### 石巻駅周辺地区

石巻駅周辺地区では、災害復旧事業や津波復興拠点整備事業により、駅や市役所の周辺に市立病院、防災センター、さきあいセンター及び各施設を整備し、防災性を高めた都市核点を整備しました。また、駅北地区と各拠点施設を結ぶ、南北間道路の整備により、利便性の向上や歩行者の安全性を確保しました。

## 中央地区

中央地区では、土地区画整理事業や再開発事業、優良建築物等整備事業、かわまち交流拠点整備事業により、宅地整備や中心市街地の賑わい形成に資する交流施設等を整備しています。

# 主な復興事業の全体像―復興まちづくりの姿・半島沿岸部―



## 半島沿岸部3拠点地区の整備

被害が甚大だった半島沿岸部では、防災集団移転促進事業により高台や内陸に宅地を整備するとともに、雄勝、北上、牡鹿の3地域に公的サービスや観光施設を集積した「地域の拠点」を整備しました。

### 北上にっこり地区

北上にっこり地区は、高台住宅団地、北上小学校、北上こども園、警察署駐在所、河北消防署北上出張所、北上総合支所等複合施設を整備しています。

### 観光物産交流施設

観光物産交流施設、観光物産交流施設内写真、おしかホエーランド、補給船前広場、多目的広場、イベント広場、自力再建店舗、防波堤、観光物産交流施設、ビジターセンター（環境者）、おしかホエーランド、補給船前広場

## 雄勝中部地区

雄勝中部地区は、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館

### 雄勝北部地区

雄勝北部地区は、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館

### 雄勝南部地区

雄勝南部地区は、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館、雄勝総合支所・雄勝公民館複合施設、雄勝物産交流館、雄勝伝統産業会館

## 北上にっこり地区

北上にっこり地区は、高台住宅団地、北上小学校、北上こども園、警察署駐在所、河北消防署北上出張所、北上総合支所等複合施設を整備しています。

### 北上にっこり地区

北上にっこり地区は、高台住宅団地、北上小学校、北上こども園、警察署駐在所、河北消防署北上出張所、北上総合支所等複合施設を整備しています。

### 北上にっこり地区

北上にっこり地区は、高台住宅団地、北上小学校、北上こども園、警察署駐在所、河北消防署北上出張所、北上総合支所等複合施設を整備しています。



# 石巻市 東日本大震災からの復旧・復興の歩み

取組の総括

- 被災概要
- 震災復興基本計画
- 住まいの再建
- 医療・福祉・教育の再生
- 産業・観光の復興
- 復興まちづくりの姿
- 公共交通の復興・生活支援
- 安全・安心の取組
- 情報発信・復興への支援

石巻市はSDGsを推進しています SDGs未来都市いしのみき

# 情報発信

### 多様な復興広報

震災発生後から現在まで、被災状況、生活再建支援など復旧復興の様々な情報を市報に掲載するほか、ホームページや住民説明会など様々な復興広報に取り組んでいます。



▲市報の記事例 ▲情報交流館中央館 ▲英国人スタッフによるレクチャーの様子

# 復興への支援

### ボランティア支援

災害ボランティアセンターを通じたボランティア支援

延べ派遣人数	122,000人（受入人数116,000人）
NP0等団体支援	170,000人超

合計約30万人の方々へ支援をいただきました。

### 義援金（市民に配分）

令和4年6月末時点	令和5年3月末時点
配分件数	1,262,941件
金額	514億3,826万円

※団体、宮城県、石巻受付の総計

### 他自治体からの職員派遣

平成23年度から令和4年度までに118の自治体から、延べ1,772名（うち一般事務職738名、技術職・専門職等1,034名）の職員を派遣していただいたほか、民間企業からも職員を派遣していただきました。

### 災害復興費寄附金の使い道

- ◆産業振興◆ 漁業、水産業の復旧・復興支援や観光施設の備品購入、イベント開催等の各種産業振興に活用しています。
- ◆教育◆ 被災した小・中学校等の備品の購入や、副読本による防災教育の啓発活動、震災により両親を亡くした子どもの奨学資金に活用しています。

SDGs未来都市 石巻市 Ishinomaki City

発行 石巻市復興企画部復興推進課 令和5年3月

復旧・復興の状況はホームページでも公開しております。石巻市ホームページ <https://www.city.ishinomaki.lg.jp/index.html>

※掲載している情報は、表記があるものを除き令和5年3月末（見込）のものとなります。なお、今後の予定は一部変更となる場合があります。